


氏名 坂 辻 義 人 

**基本理念(山陽小野田市政の現状認識と目指すべき山陽小野田市のビジョン)**

(現状認識) 世界的な金融・経済危機の波を受け、全国的に企業経営や雇用を取り巻く環境は悪化の一途をたどっており、個人の所得も大幅に減少するなど、経済環境や市民生活は大変厳しい状況です。

この状況は本市も例外ではなく、併せて、小野田地区と山陽地区の地域間格差に対する不満も大きく、少子高齢化対策、医療・教育環境の整備なども停滞し、市民の笑顔が非常に少ないように感じています。

このような時にこそ、行政の役割を最大限発揮する必要がありますが、十分に発揮されていないように感じます。

(ビジョン) 「笑顔 100%のまち、地域住民が主役の協働のまち」を目指します。

まちを見るとき「地域に活力があるか」、「地域の人たちが元気に活躍しているか」が大切です。それを行政がサポートする協働の関係をしっかりと構築し、地域の人たちが主役となって地域づくりを進める環境を整え、その上で行政が果たさなくてはならない政策を進めます。

行政の役割を最大限発揮できる組織づくりを行うとともに、経済の活性化に積極的に取り組み、「笑顔 100%」のまちを目指します。

**すぐに行う重要施策(優先順位高い順に3つ)**

(財政改革) まずは人件費の抑制などあらゆる分野の節約や見直しにより歳出を削減する一方、国・県の補助金の獲得や、企業誘致活動をするなど歳入の増加にも努めます。

(組織づくり) 市長自らトップセールスによる市政運営を行うために、副市長を配置して効率的・効果的な組織をつくり、併せて組織力のアップを図ります。

また、職員については個々の能力・専門性を高め、資質を更に向上させます。

(現場主義) 市民との会話を通して、市民が真に望むことの把握と市からの情報伝達に努めるとともに、どのような市民の声でも公正な観点で判断し、市政に反映する行政運営システムを築きます。

**4年間でやる重要施策(優先順位高い順に3つ)**

(子どもたちのために) いつの時代も、子どもたちを守り育てることは、私たちの使命です。子育てや安全で安心のできる教育環境を整えることはもちろん、お父さん・お母さんが安心して働きに出ることができ、おじいちゃん・おばあちゃんも生きがいを持って長生きできることが、ひいては子どもたちにとって、とても良いことであるので、そのような環境を整え、後世に引き継いでいく取り組みを進めます。

(地域のために) 地域のもつ財産(歴史・伝統・文化・自然・産業・施設など)や個性を活かしたまちづくりを進めるために、地域の人々が地域の将来について自ら考える「未来協議会」を小学校区毎に設置して運営費を市が負担します。そして、2年後を目処に「校区未来計画」の策定に取り組んでいただき、これをベースに、地域で取り組めることは地域にお任せし、地域の意見を参考に行政が取り組むべきことを考えることにより、地域から始まるまちづくりを進めていきます。

(産業のために) 産業の振興は、現在の社会経済情勢や市の財政状況を見ると、直ぐに取り組まなければならない課題です。山陽小野田市を支えてこられた各産業関係団体とのパートナーシップにより、雇用の維持拡大と産業の振興を図っていきます。併せて、トップセールスによる企業誘致活動を積極的に行います。

<個別テーマ>

1. 行財政改革の具体策を優先順に3つ挙げてください。

①内容	財政の健全化	期限	平成21~24年度	数値目標	20億円程度
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人件費の抑制の継続 (15億円程度)</li> <li>○ 事務事業の精査による無駄の洗い出し (1億円程度)</li> <li>○ 財政計画の見直し</li> <li>○ 公共施設の管理運営方法の見直し</li> <li>○ 都市計画税の見直し</li> </ul>				
②内容	組織のスリム化と情報公開の充実	期限	平成21年度~	数値目標	
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定員適正化計画の見直し</li> <li>○ 時代に即した組織の再編</li> <li>○ 市長旅費・交際費の公表</li> <li>○ 市長室来訪者の公表</li> <li>○ 審議会等の議事録の公表</li> </ul>				
③内容	歳入の確保	期限	平成21~24年度	数値目標	10億円程度
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民参加型公募債の発行</li> <li>○ トップセールスによる国・県の補助金の確保</li> </ul>				

2. 山陽小野田市経済活性化の具体策を優先順に3つ挙げてください。

①内容	公共事業の前倒し	期限		事業費		財源	
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画的な建設事業の推進</li> <li>○ 小野田湾岸道路 (有帆川架橋) の早期完成</li> <li>○ 合併特例債の有効活用 (義務教育施設、ゴミ焼却施設、し尿処理施設等)</li> </ul>						
②内容	産業振興	期限		事業費		財源	
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小野田・楠企業団地への積極的な企業誘致 (1000万円程度)</li> <li>○ 地元業者の保護育成 (地元業者への優先的な発注、中小企業融資制度の充実)</li> <li>○ 全製品の地産地消の促進</li> <li>○ 地元購買力の拡大</li> <li>○ 第一次産業の支援 (農林水産業の基盤整備、担い手育成)</li> </ul>						
③内容	交流人口の増加	期限		事業費		財源	
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ C. C. Z. 焼野、竜王山地区の地域交流拠点指定 (ウィンドサーフィンの全国大会誘致、イベント開催経費300万円程度)</li> <li>○ 山口国体 (少年男子サッカー、少年男子ゴルフ、成年男子軟式野球の引受) への積極的な取り組み (1億円程度)</li> </ul>						

3. 上記2つ以外の重要課題を具体的に3つ挙げてください。

①内容	子どもを育てやすい環境づくり	期限	平成21~24年度	事業費	5億円程度	財源	国・県補助金、地方債、一般財源
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童クラブ待機児童の解消</li> <li>○ 山陽地区に児童館を整備 (3億円程度)</li> <li>○ 教育SOS (Sanyo Onoda Safety system) 会議の設置 (1百万円程度)</li> <li>○ 児童クラブの開館、閉館時間の見直し (2千万円程度)</li> <li>○ 乳幼児医療費助成制度の拡大 (1億5千万円程度)</li> <li>○ 父子家庭の医療費助成制度の創設 (150万程度)</li> <li>○ 父子家庭手当の支給 (1200万円程度)</li> </ul>						
②内容	女性が輝くまちづくり	期限	平成21~24年度	事業費	2百万円程度	財源	一般財源
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の審議会等の女性枠の設定 (目標50%)</li> <li>○ 女性団体の活動支援</li> <li>○ 「女性と市長の会話の日」の開催</li> </ul>						
③内容	高齢者が輝き安心のできるまちづくり	期限	平成21~24年度	事業費	1千5百万円程度	財源	国・県補助金、一般財源
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者による介護ボランティアのポイント付与制度の創設</li> <li>○ 高齢者の生きがい対策 (1千万円程度)</li> <li>○ 「介護者交流会」の小学校区単位での開催 (120万円程度)</li> </ul>						